

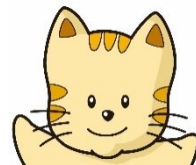


# 診療科のご案内



大阪母子医療センター  
消化器・内分泌科

## 小児の成長・発育を支えることが診療の目標



消化器・内分泌科では小児の成長・発育を支えることを診療の目標としており、非常に広範な疾患に対して専門医療を行っている全国的にも珍しい診療科です。

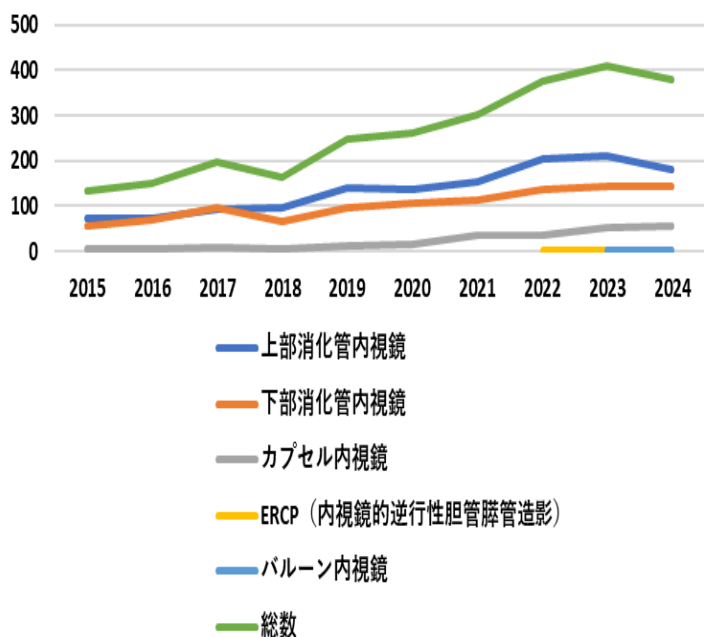
特に小児の消化器・肝臓疾患については対応している医療機関が非常に少ないため、近畿圏のみならず西日本の多くの地域から患者さんが来院されています。

当科では子どもたちの不安を軽減するための配慮を行いながら麻酔科のサポートの下で小児消化器医が年間約 400 件の上下部消化管内視鏡検査・カプセル内視鏡を実施しています。

炎症性腸疾患が疑われるような患者さんはもちろんですが、腹痛がなかなか治らない、ご家族にピロリ菌の除菌を行った方がおられる、など気になる患者さんがおられましたらどうぞお気軽にご紹介ください。

当科では毎年約 900 名のご紹介を頂いておりますが、病状などから早めの対応が必要だと思われる場合は当日～翌日の来院もご案内するようしておりますので、お電話などでご相談ください。

### 内視鏡件数 実績



## 消化器疾患・肝疾患



炎症性腸疾患、胃食道逆流症、好酸球性胃腸炎・食道炎、新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症、機能性ディスプレシア、過敏性腸症候群、慢性便秘症などの消化器疾患や胆道閉鎖症、ウイルス性肝炎、ウイルソン病、シトリン欠損症、脂肪性肝炎、急性肝不全などの肝疾患、急性・慢性膵炎などの膵疾患の診療を行っています。

先述した消化器内視鏡検査のほか、経皮肝生検や上部消化管造影検査、24 時間 pH モニター検査などによる精査も行い、的確な診断に基づいた最適な治療を行うよう尽力しています。日本国内の専門施設との共同研究も積極的に行い、小児炎症性腸疾患の診療・治療の発展に貢献できるように取り組んでいます。



# 内分泌疾患



成長ホルモン分泌不全性低身長、SGA性低身長、ターナー症候群、プラダー・ウィリ症候群、ヌーナン症候群などの成長障害をきたす疾患、思春期早発症・遅発症、甲状腺機能低下症・亢進症、先天性副腎過形成症、汎下垂体機能低下症などさまざまな内分泌疾患の診療を行っています。

中でも泌尿器科と一緒に取り組んでいる性分化疾患の診断・治療については日本で中心的役割を果たす病院のひとつとなっており、非常に多くの症例を経験しています。外性器の形態異常を認める場合はぜひご相談ください。

成長ホルモン治療については外来看護師が導入や継続のサポートを行っており、400名以上の患者さんが治療を継続しています。低身長が気になる患者さんのご紹介をお待ちしております。

[外来担当表]

●は交代制など

消化器・内分泌科	月曜		火曜		水曜		木曜		金曜	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
一般外来	萩原 和田		惠谷 萩原 和田 川井・畑 (第1・3)	惠谷 和田 川井・畑 (第1・3)	和田 (第1・2・4)		川井 宮原 萩原 (第1・3) 佐浦 (第2・4)	惠谷 宮原 (第1・2・4) 前山 (第3)		
肝臓外来	/		/		惠谷		/		/	
小児がん経験者 フォローアップ外来	/		/		/		/		●	
内分泌 フォローアップ外来	/		/		● 第3		/		/	

患者さんのご紹介をお待ちしております。  
紹介をお急ぎの場合は、直接担当医に  
電話でご相談下さい。



消化器・内分泌科  
ホームページ



**PICU ホットライン(24時間受付直通)**  
☎ **0725-56-1070**  
重篤な小児患者さんを積極的に受け入れています

## 大阪母子医療センター 患者支援センター

〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

初診予約 : FAX **0725-56-5605**

(24時間受付 : 午後7時以降受領のFAXの回答は次の受付開始後です)



(2025年4月発行)